

NHK番組アーカイブスを利用した
日本語教育史研究の可能性
—テレビは戦後の日本語教育を
どのように表象してきたか—

古屋憲章・小畑美奈恵



発表の構成

0. 研究の経緯

1. 研究目的

2. 研究方法

3. 分析結果

4. 考察

論点



0. 研究の経緯

- **NHK番組アーカイブス学術利用トライアル**

2017年度第3回採択課題（代表者：古賀万紀子）

「テレビは日本語教育をどのように描いてきたか
—NHKアーカイブスにみる日本語教育の社会的位置づけの変遷—」

NHKがこれまで放送し、NHKアーカイブスで保存している番組（約65万本、NHKが組織的な保存を始めた1981年以降のものが中心、ニュースは対象外）を研究者に見てもらい、学術的に利用する方法を検討するプロジェクト

- 2017年6月に視聴希望番組を選定して応募、7月末に採択
- 調査期間：2017年9月13日～11月24日（計13回）
- 調査場所：NHK放送博物館（東京・愛宕山）

1. 研究目的

● 表象研究

= 放送番組が特定の社会事象をどう表象しているかを探る研究

- 過去にNHKで放送されたテレビ番組において、日本語教育がどのように描かれてきたかを分析する。
- 日本社会において、日本語教育がどのように位置づけられてきたかを考察する。

2. 研究方法

丹羽（2011）を参考

- 通時的分析：

日本語教育に関する番組数を数量的に把握

- 共時的分析：

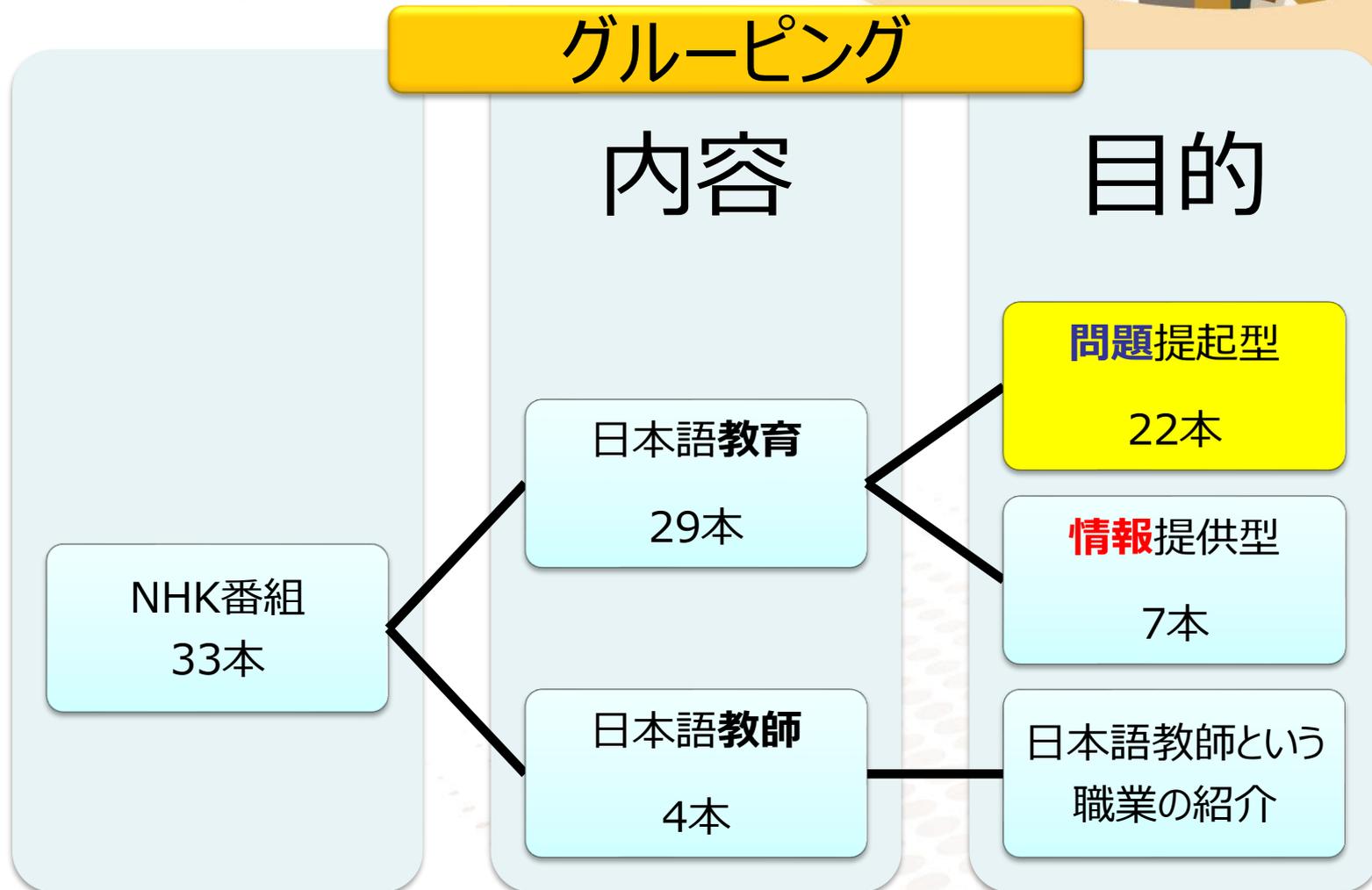
日本語教育の社会的位置づけを記述するうえで、重要であると思われる番組を重点的、かつ質的に検討

2. 研究方法

- ①NHKクロニクルの保存番組データベースを用いて、「日本語」「日本語教育」「日本語教師」等のキーワードで検索。
- ②ジャンルを報道・ドキュメンタリーに限定し、番組情報を参考に、日本語教育と関連があると予想される73本の番組を抽出。
➡NHKから視聴許可が下りた33本が調査対象。
- ③33本の番組を視聴し、日本語教育に関するシーンの詳細およびナレーションやインタビューの内容をExcelに入力し、データ化。
- ④③のデータをもとに、**内容・目的の観点**から番組をグルーピング。

2. 研究方法

グルーピング



	内容的 目的	放送日	番組名	副題
1	教育 問題	1963/04/07	日本の素顔	在日留学生
2	教育 問題	1974/11/19	日本新地図	南信濃 ～過疎対策～
3	教育 問題	1983/11/22	NHK 教養セミナー	アジアの目・世界の目 「東南アジア留学生と日本」 (2)
4	教育 問題	1985/05/24	ETV8	文化ジャーナル ぼくたち地球っこ写真展 生命科学は今 トラウンソン博士に聞く 日本語教育ブーム
5	教育 問題	1986/01/08	ETV8	国際化時代と日本語 1 いまなぜ? 日本語ブーム
6	教育 問題	1986/01/09	ETV8	国際化時代と日本語 2 どう進めるか 日本語教育
7	教育 問題	1987/10/12	につぼん列島 ただいま6時	多良岳バイク迷宮ラリー 長崎 フランスの古楽器奏でる 東京・銀座 シリーズ韓国・釜山中継 街はいま日本語ブーム
8	教育 問題	1988/03/13	NHK特集	世界が日本語を話し始めた
9	教師	1988/04/23	土曜倶楽部	外国人に二ホン語を教えてみる 体当り・日本語いきいき講座
10	教育 問題	1988/11/11	首都圏'88	部屋貸シテ下サイ ～留学生住宅事情～
11	教育 問題	1989/01/19	ETV8	外国語としての日本語 ～いかに日本語を教えるか～

	内容目的	放送日	番組名	副題
12	教育問題	1992/01/23	NHK ミッドナイト ジャーナル	ホットジャーナル（特集）日系ペルー人へスス
13	教育問題	1992/01/27	NHK ミッドナイト ジャーナル	ホットジャーナル（特集） 合言葉はオーパ！日系ブラジル人急増の町
14	教育問題	1993/01/27	ワールド ウォッチング	日本語教育
15	教育問題	1993/10/12	ジャパン＆ ワールド	日本で働く外国人
16	教育情報	1996/09/30	NHK人間大学	特別シリーズ 地球時代の日本語教育1 ～新しい日本語教授法～
17	教育情報	1996/10/01	NHK人間大学	特別シリーズ 地球時代の日本語教育2 ～“日本語”に何を求めるのか～
18	教育情報	1996/10/02	NHK人間大学	特別シリーズ 地球時代の日本語教育3 ～“外国人”とのコミュニケーション～
19	教育情報	1996/10/03	NHK人間大学	特別シリーズ 地球時代の日本語教育4 ～日本語は国際語となり得るか～
20	教育情報	1997/09/19	金曜 フォーラム	世界の人びととのコミュニケーション これからの日本語教育を考える
21	教育問題	1997/10/29	列島リレード キュメント	夜 ニホンゴを学ぶ～大阪・港区～
22	教育問題	1998/02/18	列島リレード ドキュメント	祖国の仲間のために～滋賀県・水口町～

	内容的 目的	放送日	番組名	副題
23	教育 情報	1998/09/11	金曜 フォーラム	日本語の将来を考える 日本語教育の国際化に対応して
24	教育 情報	2000/10/16	視点・論点	アメリカにおける日本語教育
25	教育 問題	2003/12/11	クローズアッ プ現代	日本に来てはみたけれど中国人就学生の2か月
26	教師	2005/12/12	あしたをつか め～平成若者 仕事図鑑	日本語へのトビウひらきます 日本語教師
27	教育 問題	2006/12/02	地域発 レポート	どう防ぐ ネットいじめ～札幌～悲しみ癒えぬ外国人遺族 ～大津～日本語を学びたい～津～鳴き砂の浜が危ない～仙台 ～なぜ遅れた学校耐震化～高松～
28	教育 問題	2009/01/16	特報首都圏	“デカセギ”がなくなった ～崩れる日系ブラジル人社会～
29	教育 問題	2009/09/21	ホリデー につぽん	生きるための“あいうえお”教室
30	教育 問題	2009/11/27	特報首都圏	“ニッポン”で働きたい
31	教師	2011/07/07	資格☆ はばたく	日本語教育能力検定試験 第1回「日本語教師ってどんな仕事？」
32	教師	2013/01/05	大志を抱け！ 世界で仕事 ハッケン伝	
33	教育 問題	2015/05/28	国際報道2015	▽外国の子供たち、日本語教育支援の危機 ▽剣道インドネシア代表初出場、世界大会に挑む

2. 研究方法 【分析の観点】

- ①日本語社会に参入する人（以下、ゲスト）は誰か。
- ②ゲストが日本語社会に参入するための言語面での支援は、誰が、どのような目的で、どのように行っているか。
- ③なぜ（どのような社会的文脈があって）そのような支援の場面が番組内で描かれたか。

3. 分析結果

【1960年代】

1963/04/07放送 『日本の素顔』 「在日留学生」

観点	内容
ゲスト	国費留学生、私費留学生（国際学友会日本語学校・千葉大学留学生課程）
言語面での支援 ・だれが ・どのような目的で ・どのように	日本語学校や大学の教員 大学進学のための予備教育 教室で教える。ディクテーション・発音矯正（音声中心の教育？）
なぜ描かれたか	<ul style="list-style-type: none">・日本の留学生受け入れ制度の不備を指摘。（日本人との交流機会、日本語使用機会の不足⇒留學生活のストレス⇒「孤立化した外人集団」化、「反日・侮日の感情」につながるおそれ）・日本政府、および日本国民は、留学生受入制度の一環として、日本語教育、および日本語使用環境の充実を考える必要がある。・日本語教育は、留学生が日本での留學生活に適應するために有効な手段の一つ。（例：大学の講義を理解するための予備教育）

1960年代

1963/04/07放送 『日本の素顔』 「在日留学生」

留学生たちはそのほとんどが日本語を全然知らずに日本へ来るのですが、日本語は1年間みっちりやれば、話すこと、聞くことはある程度までできるようになります。しかし、カタカナ、ひらがな、漢字と複雑な日本語を習得して、大学の難しい講義を理解するというのは、決して容易なことではありません。留学生の不平不満は、この「日本語ノイローゼ」からくる場合が多いということが言われています。



はるばる日本へ留学に来て、しかも日本人や日本の学生とはほとんど交わりのない生活を送る留学生たち。この寮には日本、および日本人を身近に感じ取ることのできる雰囲気はありません。その中で留学生たちは、いたずらに不平不満を持つ孤立化した外人集団となっていくのです。

我が国の留学生受け入れの体制は、決して満足できるものではありません。しかも、我が国は、戦前、中国から多数の留学生を招きながら、いたずらに反日・侮日の感情を植え付けてしまったという苦い経験を持っています。留学生制度を外国に対しても、我が国にとっても、真に有意義なものにするために、政府ばかりでなく、私たち国民もこの問題を真剣に考える必要があるのです。

3. 分析結果

【1970年代】

1974/11/19放送 『日本新地図』 「南信濃 ～過疎対策～」

観点	内容
ゲスト	中国帰国者の子ども
言語面での支援 ・だれが ・どのような目的で ・どのように	小学校の教師（中国にいたことのある教師） 日本社会への定着・適応 中国語の手紙を日本語に翻訳する授業
なぜ描かれたか	中国帰国者家族を日本社会に定着・適応させる支援施策の一環

1970年代

1974/11/19放送 『日本新地図』 「南信濃 ～過疎対策～」

中国にもいたことがあるふくよ先生の指導によって、今、たかしまよしこさんたち3人の兄弟がニッポン人としての教育を受けています。



3. 分析結果

【1980年代】

1986/01/08放送 『ETV8』 「国際化時代と日本語 1 いまなぜ？日本語ブーム」

1988/03/13放送 『NHK特集』 「世界が日本語を話し始めた」

観点	内容
ゲスト	国内&海外のビジネスピープル、海外の学習者（日本で働きたい若者）
言語面での支援 ・だれが ・どのような目的で ・どのように	国内&海外の日本語教師 日本人とのビジネスの円滑化、キャリア・アップのため 主に社会人のため、泊まり込みや夜学で集中的に教える。
なぜ描かれたか	・日本の経済発展、日本企業の世界進出を背景とする日本語ブーム ・日本人とのビジネスやキャリア・アップのための自己投資 ・経済力を盾にした日本語教育の推進を、戦時中の軍事力を盾にした日本語教育の強制と重ね、外国人に一方向的に日本語を押し付けることに対する問題提起

1980年代

1986/1/8放送 『ETV8』 「国際化時代と日本語 1 いまなぜ？日本語ブーム」



日産自動車株式会社取締役 荒川喜男 「日本人の考え方、日本語を理解していってもらうのが重要。言葉、商習慣そのものが貿易障壁だという批判がある。」

1980年代

1986/1/8放送 『ETV8』 「国際化時代と日本語 1 いまなぜ？日本語ブーム」

かつて、日本語が大量に海外に進出した時期がありました。それは、いずれも**武力を背景にした他国への侵略**によるもので、その範囲はアジア太平洋地域の広大な部分にあたりました。



現在海外で日本語教育にあたっている機関は2400、72か国にわたっています。学習者は全部で58万人、ここ10年間で7倍以上という急増ぶりです。特にアジアでの学習者は46万人、80%を占め、**日本語学習ブームは皮肉にも戦時中の大東亜共栄圏と大きな重なり**を見せています。

1980年代

1988/3/13放送『NHK特集』「世界が日本語を話し始めた」

デュッセルドルフ（西ドイツ）は、日本企業が300社進出。
ヨーロッパにおける日本企業の前線基地。



シュミットさんが勤める日本企業ではドイツ人社員に日本語学習を義務付けている。日本語研究所に2週間泊まり込んで、徹底的に日本語の特訓。この日本語研究所は、忙しい社会人に日本語学習の機会を与えようと州政府が7年前に作った施設。今回の特訓には初めて日本語に挑戦する23人が集まった。ビジネスマン、弁護士、公務員、スチュワーデスなど、いずれも仕事柄日本語が欠かせないという。

1980年代

1988/3/13放送『NHK特集』「世界が日本語を話し始めた」

中国の日本語ブームの主演は、**日本語を武器に自分の将来を切り開きたい**という青年たち。



Q：日本語を使う仕事というのは評価が高いんですか？

A：勿論ですよ。**今の給料との格差は200元ぐらい。**

チャンスがあれば日本に行きたいと思います。

3. 分析結果

【1990年代】

1992/01/27放送 『NHKミッドナイトジャーナル』

「ホットジャーナル（特集）合言葉はオーパ！ 日系ブラジル人急増の町」

1997/10/29放送 『列島リレードキュメント』「夜 ニホンゴを学ぶ～大阪・港区～」

観点	合言葉はオーパ！	夜 ニホンゴを学ぶ
ゲスト	日系人労働者の子どもたち	日本語を母語としない地域住民
言語面での支援 ・だれが ・どのような目的で ・どのように	群馬県大泉町の嘱託職員橋爪さん （日系ブラジル人二世） 教科学習の補習 ・日本語取り出し教室 （週三回小学校で） ・ポルトガル語での通訳	地域住民 日本語を母語としない地域住民 に地域コミュニティへの参加を促す ・日本語学習支援 ・交流イベントの開催
なぜ描かれたか	・労働力確保のための日系人受け入れ ・日系人受け入れ政策の一部としての 日系人子弟に対する日本語教育及び 学習支援体制の整備の必要性	・日本語を学ぶ外国の人と地域 の人とのつながりを深めるための 媒介としての日本語学習支援の 有効性

1990年代

1992/01/27放送 『NHKミッドナイトジャーナル』

「ホットジャーナル（特集）合言葉はオーパ！ 日系ブラジル人急増の町」

日系人の子どもたちのために日本語教室を開いている。橋爪さんは週三回、小学校で教えている。全校生徒840人のうち日系人が34人。



大泉町の嘱託職員橋爪「日本語のどれだけできるか、という習得度に応じて、授業が週3回が2回、1回に減らしていく。一年度目途に他のクラスに入っていく。」

体育や音楽などの日本語が関係ない授業では、日系人の子どもたちは他の子どもたちと一緒に授業を受けている。

1990年代

1997/10/29放送 『列島リレードキュメント』「夜 ニホンゴを学ぶ～大阪・港区～」

金曜日の夜、外国人を対象にした日本語教室が開かれる。日本語を学びたいという意欲があれば、誰でも参加できる無料の公開講座。中国、ブラジル、フィリピンなど、15の国から40人を超える外国出身者が毎回集まってくる。

先生役はかつてここ（高校）で学んだ定時制のOBなど、ボランティアの人たち。



ボランティアの山根さん

「ほんのちょっとした後押し、手を挙げたのを上からちょっと引っ張ってあげる力。それ以上のこと、僕望んでないしね。それ以上になってきたら、並大抵のあれじゃないないからね。それくらいのことの手助けできたらええなと思うことで、なんとかやってんねんけどね」

3. 分析結果

【2000年代】

2009/11/27放送 『特報首都圏』「“ニッポン”で働きたい」

観点	内容
ゲスト	EPAインドネシア看護師候補者
言語面での支援 ・だれが ・どのような目的で ・どのように	日本語教師・看護を教える専門家 国家試験に合格させるため 国家試験対策のための看護の専門用語を教える
なぜ描かれたか	・経済連携協定（EPA）締結による外国人看護師候補者の受け入れ ・国家的事業の一環としての外国人看護師候補者に対する日本語教育及び学習支援体制の整備の必要性

2000年代

2009/11/27放送 『特報首都圏』「“ニッポン”で働きたい」

国家試験の問題を見てみると、基本的な日本語とは違い、読むことさえできないような漢字も多くある。非常にハードルが高い。



最も大きい負担が看護師（候補者）たちの日本語教育。

この病院では、5人の（候補者）受け入れに年間で3000万円以上費やしています。病院では費用の問題で今年の新たな受け入れを断念せざるを得ませんでした。現在の5人の国家試験合格に賭けています。

3. 分析結果

【2010年代】

2015/05/28放送 『国際報道2015』

「▽外国の子供たち、日本語教育支援の危機▽剣道インドネシア代表初出場、世界大会に挑む」

観点	内容
ゲスト	外国人労働者の子どもたち
言語面での支援 ・だれが ・どのような目的で ・どのように	国による「帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業」 NPOや自治体が運営する外国人の子どもを対象にした全国30か所の日本語教室を経済的に支援
なぜ描かれたか	<ul style="list-style-type: none">・国による支援事業の打ち切り・外国人労働者の子どもに対する日本語教育の重要性が国と地方自治体の間で共有されていない・国と地方自治体との連携による外国人労働者の子どもへの日本語教育及び学習支援体制の整備の必要性

2010年代

2015/05/28放送 『国際報道2015』「▽外国の子供たち、日本語教育支援の危機▽剣道インドネシア代表初出場、世界大会に挑む」

国：自治体が外国人生徒の存在を把握し、よりきめ細やかな支援をしてもらいたい。
地方自治体：十分に対応ができない。日本語を教える専門知識をもった人材が確保できない。
続いて予算不足。続いて、必要性がない。日本語に支障があるとしても教室に座ってくれば子どもだからそのうちできるようになるのでは、という思い込みが根強い。



目白大学 佐藤郡衛学長

「多文化を持った子どもたちがこれから日本の社会を構成するメンバーになり得る。そういう子どもたちに対する手当、支援をしていくことが極めて普通のことであり大切なことだろうと思う。国と都道府県と市町村との役割をもう一度考える必要があるのかもしれない。」

4. 考察

日本語教育の描かれ方の変遷

年代	ゲスト	日本語教育の描かれ方
1960年代	国費・私費留学生	進学予備教育（留学生受入れ施策の一環）
1970年代	中国帰国者家族	日本社会への定着・適応支援施策の一環
1980年代	海外の若者 ビジネスピープル	日本人とのビジネスの円滑化、キャリア・アップのための「投資」
1990年代	日系人労働者の 子ども、定住/ 就労外国人	日系人労働者受入れ施策の一環 地域の外国人と日本人をつなげる媒介
2000年代	看護師・介護福祉 士候補者	経済連携協定（EPA）の一環
2010年代	外国人労働者の 子ども	定住外国人支援施策の一環

4. 考察

日本語教育の社会的位置づけ

年代	日本語教育の位置づけ	
	問題	提言
1960年代	日本の留学生受け入れ制度の不備	日本語教育・日本語使用環境充実の必要性
1970年代	中国帰国者家族の定着・適応	
1980年代	1980年代の経済力を盾にした日本語教育の推進 = 戦時中の軍事力を盾にした日本語教育の強制？	外国人に一方向的に日本語を押し付けることへの疑問
1990年代	日本の外国人受け入れ政策の不備	日本の外国人受け入れ政策の一部としての外国人及びその家族に対する日本語教育及び学習支援体制の整備の必要性
2000年代	経済連携協定（EPA）を締結による外国人看護師候補者の受け入れ →国の受け入れ体制の不備	国家的事業の一環としての外国人看護師候補者に対する日本語教育及び学習支援体制の整備の必要性
2010年代	リーマンショックによる外国人労働者に対する緊急支援措置の打ち切り →地方自治体側の支援の不備	国と地方自治体との連携による外国人労働者の子どもへの日本語教育及び学習支援体制の整備の必要性

4. 考察

日本社会における日本語教育の位置づけ

年	社会的な出来事	NHK番組
1960	東京外国語大学（文系）、千葉大学（理系）に留学生課程（3年制）設置	1963/04/07放送 『日本の素顔』 「在日留学生」
1972	日中国交正常化により中国残留邦人家族帰国開始	1974/11/19放送 『日本新地図』 「南信濃～過疎対策～」
1983	中曽根康弘内閣「留学生受入れ10万人計画」（「二十一世紀への留学生政策に関する提言」）策定	1986/1/8放送 『ETV8』 「国際化時代と日本語 1 いまなぜ？日本語ブーム」 1988/3/13放送 『NHK特集』 「世界が日本語を話し始めた」

日本語教育
という問題

視聴者

4. 考察

日本社会における日本語教育の位置づけ

年	社会的な出来事	NHK番組
1960	東京外国語大学（文系）、千葉大学（理系）に留学生課程（3年制）設置	1963/04/07放送 『日本の素顔』 「在日留学生」
1972	日中国交正常化により中国残留邦人家族帰国開始	1974/11/19放送 『日本新地図』 「南信濃～過疎対策～」
1983	中曽根康弘内閣「留学生受入れ10万人計画」 （「二十一世紀への留学生政策に関する提言」）	1986/1/8放送 『ETV8』 「国際化時代と日本語 1 いまなぜ？日本語ブーム」 1988/3/13放送 『NHK特集』 「世界が日本語を話し始めた」

日本語教育
という問題

視聴者

4. 考察

日本社会における日本語教育の位置づけ

年	社会的な出来事	NHK番組
1990	出入国管理及び難民認定法改正： 在留資格「定住者」創設 →日系人をはじめとするニューカマーの定住化	1992/01/27放送 『NHKミッドナイトジャーナル』 「ホットジャーナル（特集）合言葉は オーパ！日系ブラジル人急増の町」 1997/10/29放送 『列島リレードキュメント』 「夜 ニホンゴを学ぶ～大阪・港区～」
2008	日・インドネシア経済連携協定 (EPA) 発効 →外国人看護師・介護福祉士候補者受入れ	2009/11/27放送 『特報首都圏』 「“ニッポン”で働きたい」
2015	文部科学省「帰国・外国人児童生徒等教育 の推進支援事業」（補助事業） （Ⅱ 定住外国人の子どもの就学促進事業） 終了	2015/05/28放送 『国際報道2015』 「▽外国の子供たち、日本語教育 支援の危機▽剣道インドネシア代表 初出場、世界大会に挑む」

日本語教育
という問題

視聴者

4. 考察

日本社会における日本語教育の位置づけ

年	社会的な出来事	NHK番組
1990	出入国管理及び難民認定法改正： 在留資格「定住者」創設 →日系人をはじめとするニューカマーの定住化	1992/01/27放送 『NHKミッドナイトジャーナル』 「ホットジャーナル（特集）合言葉は オーパ！日系ブラジル人急増の町」 1997/10/29放送 『列島リレードキュメント』 「夜 ニホンゴを学ぶ～大阪・港区～」
2008	日・インドネシア、日・フィリピン経済連携協定 （EPA）発効 →外国人看護師・介護福祉士候補者受入れ	2009/11/27放送 『特報首都圏』 「“ニッポン”で働きたい」
2015	文部科学省「帰国・外国人児童生徒等 の推進支援事業」（補助事業） （Ⅱ 定住外国人の子どもの就学促進事業） 終了	2015/05/28放送 『国際報道2015』 「▽外国の子供たち、日本語教育 支援の危機▽剣道インドネシア代表 初出場、世界大会に挑む」

日本語教育
という問題

視聴者

4. 考察

日本社会における日本語教育の位置づけ

年	社会的な出来事	NHK番組
1990	出入国管理及び難民認定法改正： 在留資格「定住者」創設 →日系人をはじめとするニューカマーの定住化	1992/01/27放送 『NHKミッドナイトジャーナル』 「ホットジャーナル（特集）合言葉は オーパ！日系ブラジル人急増の町」
		1997/10/29放送 『列島リレードキュメント』 「夜 ニホンゴを学ぶ～大阪・港区～」
2008	日・インドネシア、日・フィリピン経済連携協定 （EPA）発効 →外国人看護師・介護福祉士候補者受入れ	2009/11/27放送 『特報首都圏』 「“ニッポン”で働きたい」
2015	文部科学省「帰国・外国人児童生徒等教育 の推進支援事業」（補助事業） （Ⅱ 定住外国人の子どもの就学促進事業） 終了	2015/05/28放送 『国際報道2015』 「▽外国の子供たち、日本語教育 支援の危機▽剣道インドネシア代表 初出場、世界大会に挑む」

日本語教育
という問題
当事者

論点

1. テレビ番組を「**歴史資料**」としてどのように分析するか。
→本研究の分析の観点や方法は適切か。
2. 日本語教育史研究として、**テレビ番組アーカイブ**を利用することにより、何ができるか。
→本研究は、「**番組収集**」と「**内容記述**」に留まっていないか。（松山，2017）

論点

3. 日本語教育史研究の目的は、
資料にもとづく**歴史的眞実の探究**か、
資料の**批判的解釈**をとおし、
現在の日本語教育への示唆を得ることか。
→そもそも本研究は、**日本語教育史研究**か。

ご清聴ありがとうございました。

参考文献

丹羽美之（2011）「テレビ・アーカイブ研究の始動にあたって」『放送メディア研究』8, 7-31.

松山秀明（2017）「日本のテレビ研究史・再考—これからのアーカイブ研究に向けて—」『放送研究と調査』67(2), 44-63

NHK番組アーカイブス学術利用トライアル研究発表会（2018年7月14日）発表スライド